

**2022年3月期**  
**第2四半期 決算説明資料〔IFRS〕**  
 (2021年4月－2021年9月)

株式会社 LIXIL  
 2021年10月29日

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

**2016年3月期よりIFRSに移行しています**  
**各段階利益の名称の違いは以下の通りです**

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	<b>継続事業</b>
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
<b>営業利益</b>	<b>事業利益（CE）</b>
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	<b>税引前利益</b>
	継続事業からの当期利益
	<b>非継続事業</b>
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	<b>親会社の所有者に帰属する当期利益</b>
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

## ▶ 本日のポイント

### 2022年3月期 第2四半期 業績の総括

- 想定を超える、アジア太平洋地域のロックダウン影響、部品調達難、コンテナ不足によるコスト増、9月における生産・出荷の遅れにより、特に9月の業績軟化するも、欧米を中心とした旺盛な需要継続と、日本の構造改革の進捗により、**対前年同期比で増収増益。最終四半期利益<sup>(1)</sup>は、上期としては過去最高益**
- 従来から取り組んできた様々な体質改善施策が定着するとともに、結果として表れはじめ、原材料費の高騰あるも**売上総利益率・事業利益率ともに改善**
- 売上総利益率は、前年同期比で2.1pt改善  
事業利益率は5.4%に
- 年間80円の配当予想に変更はなく、中間配当40円を決議

LIXIL (1) 最終四半期利益=親会社の所有者の帰属する四半期利益

2

## ▶ 本日のポイント

### 当社事業環境と対応状況・見通しについて

想定外または想定を超える事象の発生により、9月単月の業績軟化要因となるも、多くの問題は、概ね10月末までの解決を見込む

#### • ウッドショック影響

一部工務店における住宅着工に遅れ。  
但し、影響は想定内かつ限定的

#### • 資材価格の上昇

- ✓ **木材**：H&S事業の損益に一部影響。但し、限定的
- ✓ **銅・鋼材**：ヘッジ、コスト削減、および適正価格による販売への早期着手により、概ね価格上昇影響をカバー

#### • 中国事業

##### ✓ 中国住宅市場の急減速

事態を想定し、対応していた為、直接的な損害は限定的。今後デベロッパー向け売上の減少が予想されるも、小売り・リノベーションなどへの事業分散施策の促進により、来期以降は、成長を見込む

##### ✓ 電力供給不足

自家発電設備の確保、供給元の多様化等の対応により、現状事業への影響なし

想定内・既対応事象

#### • ロックダウン

##### ✓ アジア太平洋地域

主要国<sup>(1)</sup>の需要大きく落ち込むも市況改善傾向

##### ✓ ベトナムから日本への供給

- **衛生陶器（トイレ）**：一部部品の欠品により、9-10月の生産・供給に遅れが生じ、当初計画の90%程度に。事態はほぼ収束し11月に正常化の見込み
- **エクステリア**：8-10月における国内での代替生産が一時的なコストアップ要因に。但し、これにより欠品を回避。11月中旬に、完全正常化の見込み

#### • 資材価格の上昇

- ✓ **アルミ**：一定程度は予想し対応済み。現在の歴史的な高値までは想定外であり、次期価格改定までは採算面での圧迫を予想

#### • 輸送（コンテナ）のひっ迫

ロックダウン影響により貨物の輸送が遅れ、輸送コスト・輸送中在庫が予想以上に増加。コスト上昇は来期1Qまで続く見込み

想定を超える事象の発生

LIXIL (1) インド、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム

3

## 2022年3月期 第2四半期 決算ハイライト

### ■ 売上収益 6,962億円、対前年 5%増

- 対前年：国内2%減（売却影響を除く2%増）、海外25%増
- 第1四半期は好調も、第2四半期は、9月の生産・出荷遅れが影響（主に日本・アメリカ・欧州）。11月以降は段階的に正常化する見通し

### ■ 事業利益 373億円、対前年 219億円増

- 欧米水まわり事業の売上伸長と、日本の構造改革の進捗が増益を牽引
- 第2四半期は、旺盛な需要に対して特に9月の生産・出荷遅れが影響し減速

### ■ 最終四半期利益<sup>(1)</sup> 257億円、対前年 148億円増

上期 過去最高益

- 前年の経済活動の制限からの回復と構造改革の進捗により増益

LIXIL (1) 最終四半期利益=親会社の所有者の帰属する四半期利益

4

## 2022年3月期 第2四半期 連結業績結果

(億円)	第2四半期 6か月				第2四半期 3か月		
	21/3期	22/3期	増減	%	22/3期	増減	%
売上収益	6,605	6,962	+357	+5.4%	3,505	+4	+0.1%
売上総利益	2,177	2,442	+265	+12.2%	1,192	-18	-1.5%
(%)	33.0%	35.1%	+2.1pt	-	34.0%	-0.6pt	-
販管費	2,023	2,069	+46	+2.3%	1,050	+20	+2.0%
事業利益 <sup>(1)</sup>	154	373	+219	+142.5%	142	-38	-21.2%
(%)	2.3%	5.4%	+3.0pt	-	4.1%	-1.1pt	-
非継続事業を含む 最終四半期利益 <sup>(2)</sup>	109	257	+148	+136.5%	89	-57	-39.1%
EPS (円)	37.47	88.46	+50.99	-	30.55	-19.74	-
EBITDA <sup>(3)</sup>	559	774	+215	+38.5%	343	-39	-10.2%
(%)	8.5%	11.1%	+2.7pt	-	9.8%	-1.1pt	-

- 事業利益率：3.0pt良化（売上総利益率は2.1pt良化、販管費率は0.9pt良化）
- 売上総利益率・事業利益率：利益率の高い海外事業の売上構成比率の上昇と、製造部門における操業度の向上、過年度における構造改革の効果発現を主因として良化
- 販管費：売上増加に伴い6か月で前年同期比46億円増加（日本49億円減少、海外95億円増加）

LIXIL (1) 日本基準の「営業利益」に相当  
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

5

## 2022年3月期 第2四半期 セグメント別業績概況

水まわり事業の好調継続が増収に、コア事業が増益に貢献

報告セグメント	(億円)	上期 6か月			第2四半期 3か月	
		21/3期実績	22/3期実績	増減	22/3期実績	増減
LWT	売上収益	3,656	4,205	+548	2,099	+97
	事業利益	199	408	+209	171	+3
LHT	売上収益	2,356	2,297	-58	1,150	-33
	事業利益	136	182	+47	79	-5
LBT	売上収益	463	406	-56	226	-24
	事業利益	4	11	+6	18	+5
住宅・サービス事業等 (H&S)	売上収益	229	150	-79	78	-38
	事業利益	10	-7	-17	-8	-14
全社/連結調整	売上収益	-99	-96	+3	-49	+1
	事業利益	-195	-221	-26	-119	-28
合計	売上収益	6,605	6,962	+357	3,505	+4
	事業利益	154	373	+219	142	-38

為替影響：

上期6か月：売上収益 +115億円、事業利益 +8億円

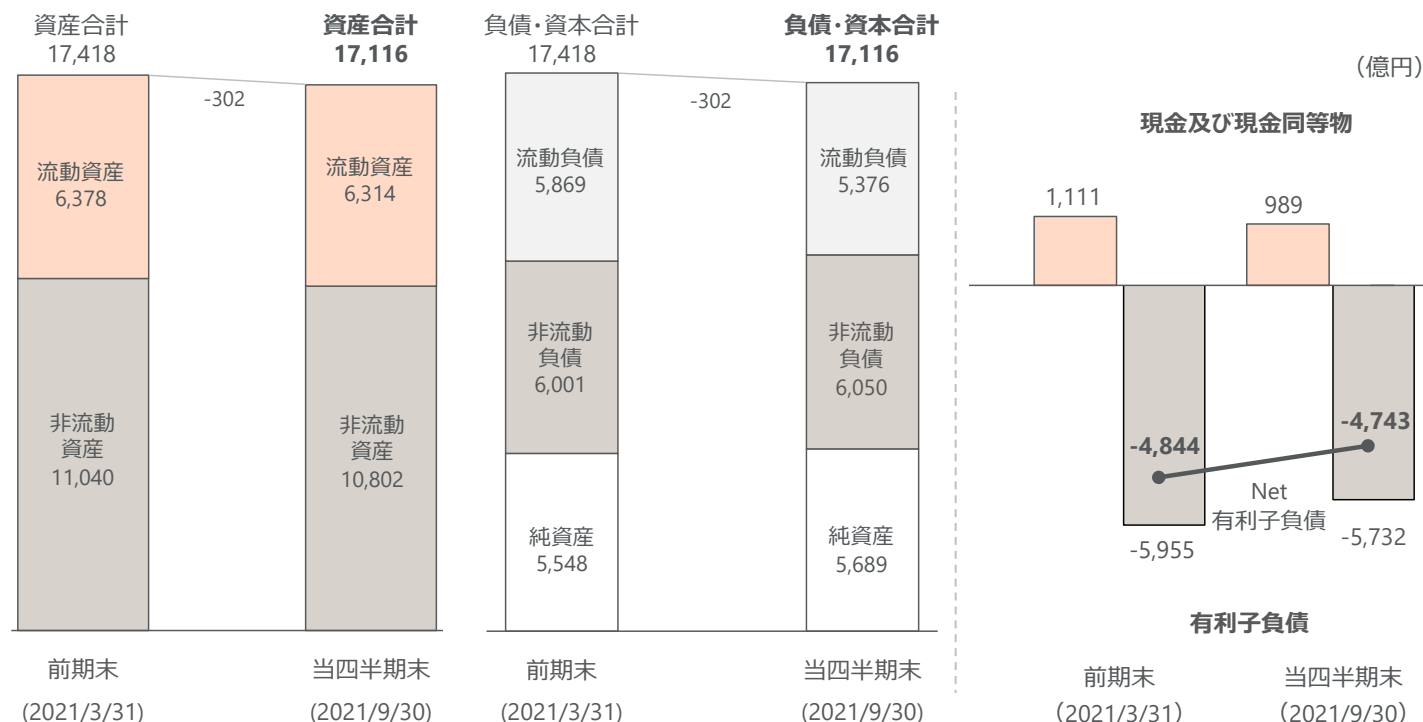
2Q3か月：売上収益 +60億円、事業利益 +9億円

LIXIL

6

## 連結財政状態

自己資本比率は、21/3期末時点から1.4pt改善し、33.1%に。  
通期計画34%に対し順調に進捗

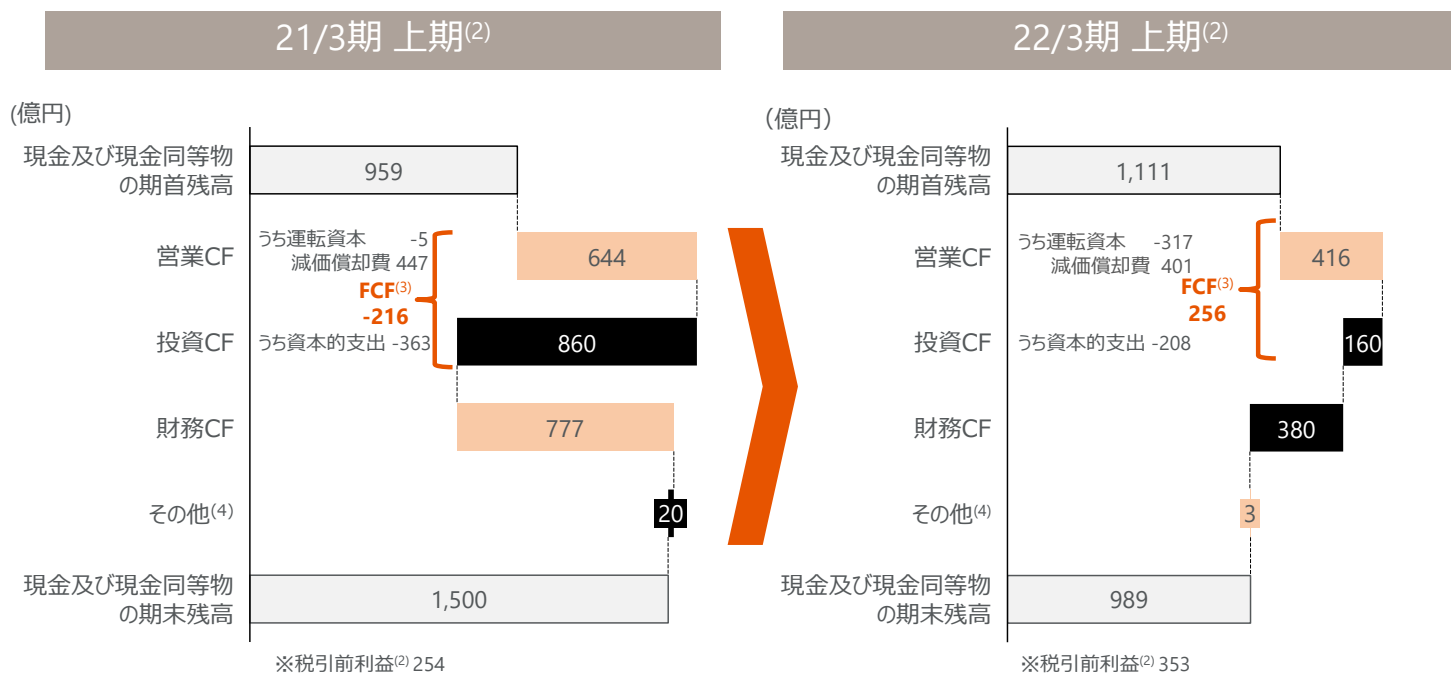


LIXIL

7

## ▶ キャッシュフローの状況及び現金残高

フリーキャッシュフローは、構造改革推進による増加284億円<sup>(1)</sup> 及び税引前四半期利益の増加、並びに、アセットライト化促進による投資の減少により前年同期比では472億円の増加



LIXIL

(1) 人事施策実施に伴う支出、事業売却影響  
 (2) 非継続事業を含む  
 (3) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF + 投資CF で計算

(4) 「その他」 = 為替換算影響額 + 売却目的保有資産に含まれる現金及び現金同等物

8

## ▶ 2022年3月期 下期見通し

- 引き続き需要は旺盛なるも、資材価格、物流コストの上昇など外部環境は、先行きを見通しにくい状況が継続
- 事業リスク要因には、生産拠点の多様化、売れ筋商品の絞り込みによる商品の安定供給と、デジタル化・アセットライト化などを通じた不断のコスト削減努力により対応

### 需要見通し

- 日本**
- ✓ **新築**：ウッドショックにより若干の着工時期の遅れあるも、大きな影響なし
  - ✓ **リフォーム**：旺盛な需要が継続
- 海外**
- ✓ **欧州・アメリカ地域**：旺盛な需要が継続。但し、商品供給がボトルネック
  - ✓ **中国**：中国住宅市場の急減速により、成長は来期以降となる見込み
  - ✓ **アジア太平洋地域**：一時的な後退もあり得るも、回復基調が継続

### 事業リスク要因

- ✓ 歴史的な資材価格の高騰
- ✓ 中国における電力供給制限
- ✓ 輸送（コンテナ）のひっ迫とコストの上昇
- ✓ 予測不能なロックダウンの発生
- ✓ 上記の結果を含む予想困難な要因による様々な部品の供給不足

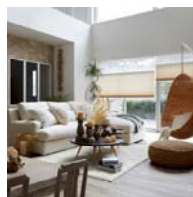
LIXIL

9

## セグメント別決算の概要



ウォーターテクノロジー事業 (LWT)



ハウジングテクノロジー事業 (LHT)



ビルディングテクノロジー事業 (LBT)



住宅・サービス事業等 (H&S)

10

## ウォーターテクノロジー事業 (LWT)

海外事業は好調な欧米が牽引し、増収増益。  
日本事業は旺盛なリフォーム需要を背景に、増収増益

4月-9月 億円		22/3期 上期	YoY 現地通貨 ベース	
地域別売上 (1)	アメリカ	754	+20%	
	欧州、中東、 アフリカ地域	936	+29%	
	中国	285	+1%	
	アジア太平洋地域	202	+19%	
	日本	1,998	+5%	
	連結調整・他	29		
	<b>Water Technology</b>	<b>4,205</b>	<b>+15%</b>	<b>事業 利益率%</b>
事業利益	海外	261	+117%	11.8%
	日本	147	+87%	7.4%
	<b>Water Technology</b>	<b>408</b>	<b>+105%</b>	
	事業利益率	9.7%	+4.3pt	

### 売上収益

#### ■ アメリカ

- ✓ 1Qに引き続き、売上はコロナ前の水準を大幅に上回って伸長
- ✓ 全商品カテゴリー・全販売チャネルで大幅伸長  
特に卸向け・小売販売が牽引

#### ■ 欧州、中東、アフリカ地域

- ✓ 好調な受注に支えられ、全地域で前年・前々年比で増収
- ✓ 全商品カテゴリー・全販売チャネルで大幅伸長

#### ■ 中国

- ✓ 小売販売チャネルとGROHE商品の売上好調により前年並みで推移

#### ■ アジア太平洋地域

- ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部の地域で経済活動の制限の影響を受けるも、地域全体としては回復を継続し、増収

#### ■ 日本

- ✓ リフォームと中高級品価格帯商品の需要好調により増収
- ✓ 衛生への関心の高まりにより、タッチレス水栓、およびタッチレス水栓を搭載したキッチン・洗面化粧台が引き続き好調

### 事業利益

#### ■ 海外・日本

- ✓ 海外：主に欧米における売上好調が貢献
- ✓ 日本：リフォーム売上・中高級品売上構成比上昇により増益



## ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

原材料価格高騰の影響あるも、体質強化施策の進捗により、前年の子会社売却影響を除き、増収増益

4月-9月 億円		22/3期 上期	YoY	
地域別売上	日本	2,278	-2% <sup>(1)</sup>	<b>■ 日本</b> ✓ 事業環境はアルミ等原材料費高騰の影響により厳しくも、体質強化施策の進捗、商品価格の見直し、生産面・業務面における生産性の向上により増益 ✓ 事業利益率2.2pt改善 ✓ “ニューノーマル”への対応、および、在宅時間が増えたことを背景にリフォーム需要が増加 <ul style="list-style-type: none"> <li>リシェント（リフォームドア）：売上 前年比27%増</li> <li>インプラス（リフォーム樹脂内窓）：売上 前年比31%増</li> <li>スマート宅配ポスト：売上 前年比57%増</li> </ul>
	海外	19	-35%	
	Housing Technology	2,297	-2%	
事業利益	Housing Technology	182	+34%	✓ 今期すべての窓シリーズを刷新し、住宅の高性能化を推進。アルミ窓「サーモスA」（5月発売）、樹脂窓「EW」（8月発売）に続き、刷新するハイブリッド窓の第1弾商品となる「サーモスII-H/L」 <sup>(2)</sup> を11月より発売。新商品への切り替え進む
	事業利益率	7.9%	+2.2pt	

LIXIL (1) 事業売却等影響除く +2%  
(2) ニュースリリース <https://www.lixil.com/jp/news/pdf/2021102101.pdf>

12

## ビルディングテクノロジー事業 (LBT)、住宅・サービス事業等 (H&S)

大型物件を中心とした工程見直しに伴う建材供給時期の遅れにより減収なるも、販管費削減・体質強化への継続的取り組みにより利益率改善

4月-9月 億円		22/3期 上期	YoY	
ビルディング	売上	406	-12%	<b>■</b> ビル案件は、長期に渡り、段階的に収益認識されることから、取り組みと効果の発現時期にタイムラグが生じるため、来期以降も継続的な利益改善を見込む
	事業利益	11	+149%	
	事業利益率	2.6%	+1.7pt	

### 前年度事業売却等影響を主因として、減収減益

4月-9月 億円		22/3期 上期	YoY	
H & S	売上	150	-35% <sup>(1)</sup>	<b>■</b> 事業売却等影響を除く上期売上は、概ね前年同水準 <b>■</b> 販管費抑制するも、事業売却影響・資材高騰影響継続により赤字
	事業利益	-7	-	
	事業利益率	-5.0%	-9.3pt	

LIXIL (1) 事業売却等影響除く +2%

13

## ▶ (ご参考) データ集

## ▶ 商品・サービス別売上状況

非接触（タッチレス）化や快適性の向上を目的としたリフォーム需要の増加により、水まわり商品売上好調

セグメント	主要商品名	21/3期 通期実績	21/3期 上期実績	22/3期 上期実績	前年 同期比 (%)	(単位：%)					
						前年同期比					
						21/3期				22/3期	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
LWT	衛生機器**	1,055	504	496	-1.5%	+1.5	-8.5	-2.1	+8.4	+0.9	-3.9
	バスルーム	870	412	426	+3.6%	-20.8	-18.8	-9.0	-3.9	+10.7	-2.9
	洗面化粧台**	371	168	185	+10.0%	-8.5	-9.0	+8.9	+2.9	+13.7	+6.6
	キッチン	1,001	466	498	+7.1%	-14.8	-20.0	-3.9	-1.0	+9.5	+4.8
	タイル	330	158	157	-0.7%	-5.3	-16.6	-6.2	-7.6	-1.6	+0.2
LHT	住宅サッシ	1,715	854	827	-3.2%	-10.7	-13.3	-4.2	-10.8	-2.0	-4.3
	エクステリア	994	495	505	+2.2%	-9.4	-14.6	-6.0	-8.5	+3.1	+1.2
	インテリア建材	624	304	300	-1.3%	-8.1	-18.0	-7.8	-8.2	-3.1	+0.5
	その他LHT <sup>(1)</sup>	547	295	193	-34.7%	-30.0	-33.7	-14.9	-53.3	-36.5	-32.9
LBT	ビルサッシ	934	463	406	-12.2%	-10.8	-18.2	-21.1	-17.3	-15.4	-9.4
H&S	住宅・サービス事業 <sup>(1)</sup>	466	229	150	-34.6%	-13.9	-15.1	+1.2	-28.0	-36.5	-32.9
	海外売上 <sup>(2)</sup>	3,847	1,786	2,226	+24.6%	-21.5	+2.3	+1.9	+2.6	+49.6	+6.2
	その他・連結調整等	1,030	474	594	-						
売上合計		13,783	6,605	6,962	+5.4%	-14.6	-11.6	-3.8	-6.2	+11.4	+0.1
(ご参考) **「衛生機器」「洗面化粧台」に含まれる水栓金具の売上状況											
LWT	水栓金具	217	98	114	+15.7%	+13.5	+4.9	+19.5	+22.2	+17.9	+13.6



## 日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

水まわりを中心とした好調なリフォーム需要により、リフォーム売上構成比3.7pt上昇

(億円)	上期 6か月				第2四半期 3か月	
	21/3期実績 <sup>(1)</sup>	22/3期実績	増減	前年同期比	22/3期実績	前年同期比
リフォーム商材売上	1,402	1,528	126	+9%	768	+4%
LWT-J				+13%		+6%
LHT-J				+7%		+3%
LBT				-9%		-0%
リフォーム売上比率	36%	40%	+3.7pt		39%	+2.4pt

### セグメント別リフォーム売上構成比

	21/3期上期	22/3期上期	増減
LWT	44%	47%	+3.8pt
LHT	33% <sup>(1)</sup>	35%	+2.4pt
LBT	21% <sup>(1)</sup>	24%	+3.7pt
国内・計	36%	40%	+3.7pt

### リフォーム加盟店の推移

店	20年3月	21年3月	21年9月
LIXILリフォームショップ (FC)	554	540	537
LIXILリフォームネット (ボランティア)	11,789	11,373	11,302
リクシルPATTOリフォームサービスショップ	3,602	3,817	3,796

LIXIL (1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正

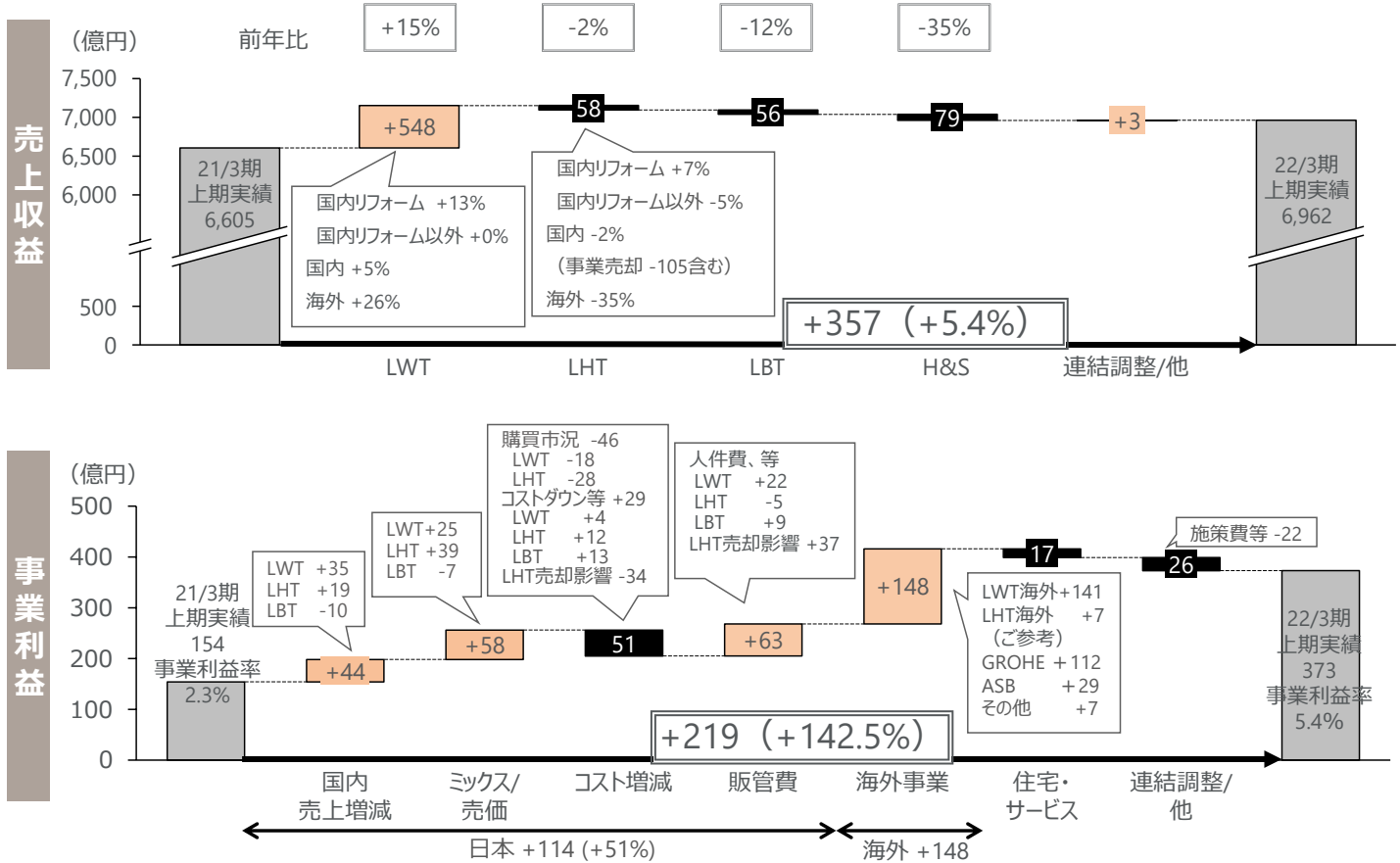
16

## 海外 - ウォーター事業における海外事業の成長促進の進捗

ブランド・ポートフォリオやグローバルな生産体制、先進技術を活かすことで、ポートフォリオ・ギャップを埋め、海外事業の成長を促進

	22/3期 上期 6か月					22/3期 第2四半期 3か月				
	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域
<b>売上構成比</b>										
水栓金具 (浴室)	43%	14%	65%	39%	48%	42%	13%	65%	40%	49%
衛生陶器等	38%	53%	21%	56%	43%	39%	55%	21%	55%	41%
水栓金具 (キッチン)	9%	5%	14%	3%	5%	8%	5%	13%	3%	6%
浴槽・シャワーシステム	7%	20%	0%	1%	1%	7%	19%	0%	0%	1%
その他	3%	8%	0%	2%	2%	3%	8%	0%	1%	3%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
<b>売上伸び率</b>										
水栓金具 (浴室)	+22%	+9%	+28%	+28%	+5%	+2%	-9%	+4%	+5%	+4%
衛生陶器等	+19%	+24%	+38%	+2%	-6%	+3%	+15%	+12%	-21%	-17%
水栓金具 (キッチン)	+20%	+6%	+26%	+43%	+5%	-3%	-8%	-2%	+3%	+1%
浴槽・シャワーシステム	+25%	+27%	+85%	-45%	-2%	+11%	+14%	+55%	-37%	-11%

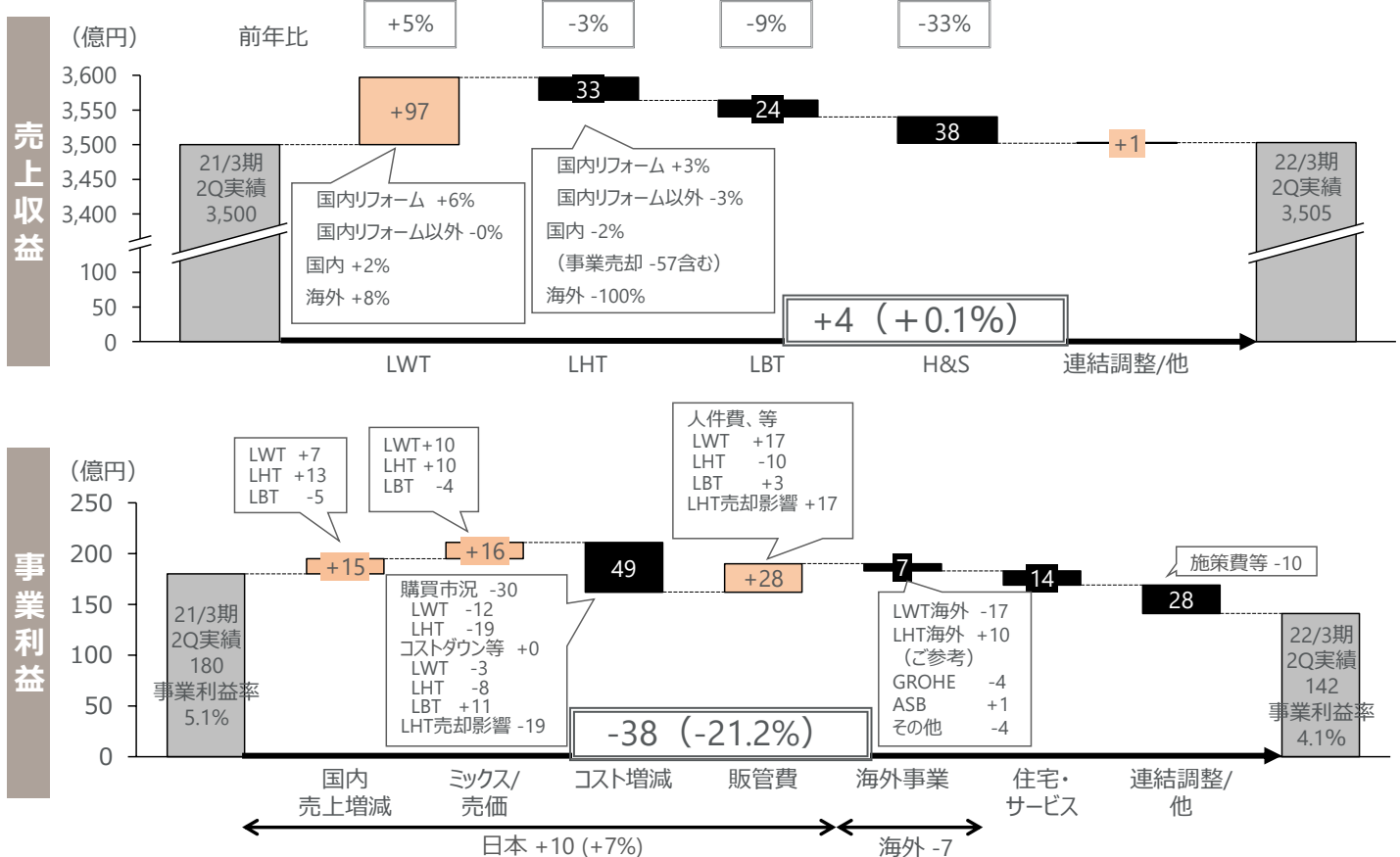
## ▶ 上期 (6ヵ月) 売上収益・事業利益の増減 (前年同期差)



LIXIL

18

## ▶ 第2四半期(3ヵ月) 売上収益・事業利益の増減 (前年同期差)



LIXIL

19

## 第2四半期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

(億円)	21/3期 上期実績	22/3期 上期実績	増減
売却目的で保有していた資産の処分益	-	24	+24
その他	25	24	-1
<b>その他の収益</b>	<b>25</b>	<b>48</b>	<b>+23</b>
有形固定資産除売却損	6	8	+2
減損損失	28	14	-15
その他	25	28	+3
<b>その他の費用</b>	<b>59</b>	<b>49</b>	<b>-10</b>
受取利息	5	7	+2
受取配当金	8	10	+2
デリバティブ評価益	-	9	+9 (A)
為替差益	53	-	-53 (B)
<b>金融収益</b>	<b>66</b>	<b>26</b>	<b>-39</b>
支払利息	21	23	+2
デリバティブ評価損	57	-	-57 (B)
為替差損	-	14	+14 (A)
その他	0	1	+1
<b>金融費用</b>	<b>78</b>	<b>37</b>	<b>-41</b>

(A)「デリバティブ評価益」は「為替差益」と両建てで表示されています。

	22/3期 上期実績
デリバティブ評価益	9
為替差損	-14
Net	-4 損

(B)「為替差益」は「デリバティブ評価損」と両建てで表示されています。

	21/3期 上期実績
為替差益	53
デリバティブ評価損	-57
Net	-4 損

LIXIL

20

## セグメント別 実績及び通期業績予想

(億円)	21/3期 上期			22/3期 上期				22/3期 通期予想				
	国内	海外	計	国内	海外	計	前年同期比%	国内	海外	計	前期比%	
LWT	売上収益	1,900	1,756	3,656	1,998	2,206	4,205	+15.0%	4,315	4,340	8,655	+10.4%
	事業利益	79	120	199	147	261	408	+105.4%	365	460	825	+32.7%
	%	4.1%	6.8%	5.4%	7.4%	11.8%	9.7%	+4.3pt	8.5%	10.6%	9.5%	+1.6pt
LHT	売上収益	2,326	30	2,356	2,278	19	2,297	-2.5%	4,715	65	4,780	+0.8%
	事業利益	143	-7	136	183	-0	182	+34.3%	385	-20	365	+16.1%
	%	6.2%	-24.3%	5.8%	8.0%	-0.1%	7.9%	+2.2pt	8.2%	-	7.6%	+1.0pt
LBT	売上収益	463		463	406		406	-12.2%	865		865	-7.4%
	事業利益	4		4	11		11	+148.5%	30		30	+14.9%
	%	0.9%		0.9%	2.6%		2.6%	+1.7pt	3.5%		3.5%	+0.7pt
H&S	売上収益	229		229	150		150	-34.6%	300		300	-35.6%
	事業利益	10		10	-7		-7	-	10		10	-53.2%
	%	4.3%		4.3%	-5.0%		-5.0%	-9.3pt	3.3%		3.3%	-1.3pt
連結調整・他 <sup>(1)</sup>	売上収益			-99			-96	-			-200	-
	事業利益			-195			-221	-			-430	-
LIXIL <sup>(1)</sup>	売上収益	4,918	1,786	6,605	4,833	2,226	6,962	+5.4%	10,195	4,405	14,400	+4.5%
	事業利益	236	113	154	333	261	373	+142.5%	790	440	800	+39.6%
	%	4.8%	6.3%	2.3%	6.9%	11.7%	5.4%	+3.0pt	7.7%	10.0%	5.6%	+1.4pt

LIXIL

(1) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

21

## 主要海外子会社業績

ASB (ASD Holdings)	21/3期 上期	22/3期 上期	前年同期比	単位：百万米ドル
為替レート(期中平均レート)	106.68	<b>110.18</b>	-	
売上収益	598	<b>718</b>	+20%	
事業利益	33	<b>58</b>	+76%	
事業利益率	5%	<b>8%</b>	+2.6pt	

決算期	21/3期 期末残高	22/3期 上期		期末残高
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	110.71	110.18	-	<b>111.92</b>
のれん	228	-	0	<b>228</b>
無形資産	206	-3	0	<b>203</b>

Grohe Group (グロー工)	21/3期 上期	22/3期 上期	前年同期比	単位：百万ユーロ
為替レート(期中平均レート)	121.36	<b>130.97</b>	-	
売上収益	677	<b>886</b>	+31%	
事業利益	65	<b>145</b>	+125%	
事業利益率	10%	<b>16%</b>	+6.9pt	

決算期	21/3期 期末残高	22/3期 上期		期末残高
		償却額	その他 <sup>(1)</sup>	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	129.8	130.97	-	<b>129.86</b>
のれん	1,197	-	-3	<b>1,195</b>
無形資産	1,429	-6	0	<b>1,423</b>

LIXIL (1) 為替換算差額など

22

## （ご参考）事業関連・ESG関連トピックス

## 事業トピックス

### 既存住宅を活かしたリフォームにより 脱炭素社会の実現に貢献

#### 「まるごと断熱リフォーム」で 新築に代わる選択肢の提案



(写真：高性能住宅工法「まるごと断熱リフォーム」、2021年10月1日より全国発売<sup>(1)</sup>)

- 既存住宅の構造部分や地中の配管等、“使える部分”を活かすことでコストを削減し、断熱材や外装・内装・設備等の一新により、快適な住宅を実現
- LIXILは、住宅全体の高性能化を推進し、多角的に取り組むことで2050年カーボンニュートラルの達成を図る

### リフォーム需要に対応する商品の拡充

#### マンションリフォーム用バスルーム「リビオV」刷新 多機能シャワー「エコアクアシャワーSPA」発売



(写真：左「リビオV」<sup>(2)</sup>、右「エコアクアシャワーSPA」<sup>(3)</sup>)

- 水まわりのリフォーム需要に応えるため、商品の拡充に注力。「リビオV」はマンションリフォーム用のバスルームであり、トレンドを捉え空間デザインを強化して刷新
- 「エコアクアシャワーSPA」は、微細な水流で皮脂汚れを洗い流すシルクミスト吐水、マッサージ感を得られるパワーマッサージ吐水、空気を含んだ大粒の水滴で節水効果も実現するアクアスプレー吐水など、計3つの吐水モードを搭載し、多機能性と洗練されたデザインを両立した高付加価値型の商品
- リフォーム商材の拡充により収益性を改善

LIXIL (1) ニュースリリース <https://www.lixil.com/jp/news/pdf/2021100401.pdf>  
(2) ニュースリリース <https://www.lixil.com/jp/news/pdf/2021092901.pdf>  
(3) ニュースリリース <https://www.lixil.com/jp/news/pdf/2021092801.pdf>

24

## 事業・ESGトピックス

### GROHE XがRed Dot Awardを受賞

#### デジタルコンテンツの拡充による 顧客体験の向上



- GROHEは、製品や技術を紹介する動画などのコンテンツやオンライン商談など、ブランド体験をオンラインで提供するプラットフォーム「GROHE X」の内容と利便性が評価され、Red Dot Award Brands & Communication Design 2021のデジタルソリューション部門を受賞<sup>(1)</sup>
- 日本国内では、来年度より、ビジネスパートナー向けのオンラインプラットフォームを展開予定。商品情報以外にもユーザーのビジネスサポートになる動画やCADなどのマルチコンテンツを提供。将来的にはエンドユーザーにも対象を広げ、顧客体験を向上

### スマートホームで 熱中症対策など気候変動への適応を検証

#### 国土交通省公募の「サステナブル建築物等 先導事業（次世代住宅型）」に選出



- 気候変動により夏はますます暑くなり、日本では熱中症で救急搬送される人の約4割が住居内で発症。室内での熱中症対策という重要課題の解決のための実証プロジェクトにLIXILを選出<sup>(2)</sup>
- LIXIL独自の技術を活かしたIoTホームリンク「Life Assist2」を使用し、スマートホームシステムによる、熱中症対策や空気質管理の有効性を検証していき、住まいの課題解決に貢献

LIXIL (1) GROHE X(英語) [https://www.grohe-x.com/en/newsroom-overview/news-overview-international/brand\\_red-dot-award-grohe-x](https://www.grohe-x.com/en/newsroom-overview/news-overview-international/brand_red-dot-award-grohe-x)  
(2) ニュースリリース <https://www.lixil.com/jp/news/pdf/2021080601.pdf>

25



## ESG関連トピックス

### 気候変動の緩和と適応

#### 「窓からECOシェアプロジェクト」で 省エネと子ども達の健康に貢献



- 断熱窓や断熱ドアなど、CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する対象商品の売上の一部により、地域の保育所・幼稚園に外付日よけを寄付。子どもたちの室内熱中症を予防し、気候変動への適応を支援<sup>(1)</sup>
- 窓からECOシェアプロジェクトは2019年から開始し、2020年のCO<sub>2</sub>削減貢献量は1,943トン。468世帯の家庭の1年間のCO<sub>2</sub>排出量に相当

### 国連HLPFに民間企業代表として参加

#### 国連ハイレベル政治フォーラムでSATOを紹介



- 2021年7月15日、外務省はSDGsに関連した国連ハイレベル政治フォーラム（HLPF）にて、SDGs達成へ向けた日本の取り組みの報告において、日本を代表する唯一の民間企業としてLIXILの取り組みを紹介<sup>(2)</sup>
- LIXILは、SATO ブランド独自の持続的で実現可能なイノベーションと世界の衛生環境を改善するためのコラボレーションの重要性について説明
- これまでに開発途上国向け簡易式トイレシステムSATOはトイレと「SATO Tap」による手洗いの普及を通じ、41か国以上に出荷、約2,500万人の衛生環境の改善に貢献

LIXIL

(1) Webサイト <https://www.lixil.co.jp/minnadesmileecopj/thinkheat/madoeco/>  
(2) 外務省YouTube <https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=06O1TowRi0&t=370s>

26

## 外部評価

### MSCI日本株女性活躍指数

役員や従業員、新入社員における女性の割合が向上し、MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に選定（5年連続、2021年6月）

2021 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

### MSCI ESG Ratings

コンプライアンスへの取り組み、コーポレートガバナンス体制の改善、開示情報の拡充が評価され、MSCI社の「ESG Ratings」がBBBからAにランクアップ（2021年3月）



### FTSE4Good Index Series

人権、コーポレート・ガバナンス、グリーン調達ガイドライン策定などの取り組みが評価され、FTSE Russell社の「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄と「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定（5年連続、2021年6月）

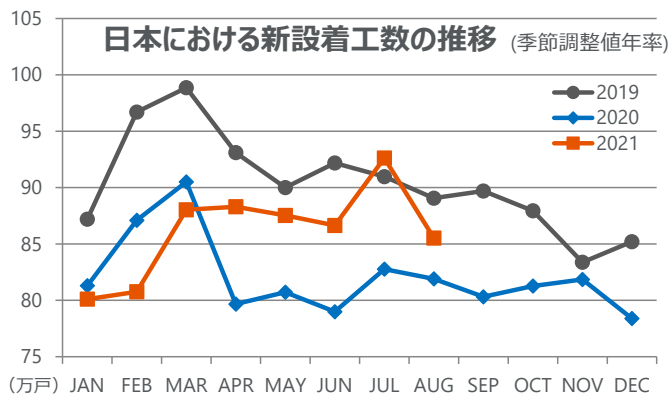


FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan

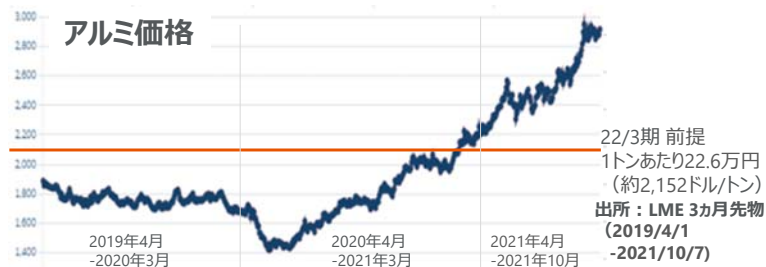
## 事業環境



### 新築着工水準 (対前年比)

- 2021/1-6： +3.3%
- 2021/1-8： +4.7%

	2021年1月-8月 (8ヵ月)		2021年4月-8月 (5ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	563,495	+4.7%	372,496	+8.3%
持家(1)	185,016	+9.5%	123,086	+12.9%
貸家	211,259	+3.2%	141,664	+7.8%
分譲マンション	70,275	-2.1%	44,329	-4.0%
分譲戸建(2)	92,073	+5.4%	60,071	+11.3%
戸建合計(1)+(2)	277,179	+8.1%	183,157	+12.4%



為替 (期中平均レート)	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 計画前提
米ドル	109.10円	106.17円	105.0円
ユーロ	121.14円	123.73円	126.0円

原材料価格の 実績	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	21.5万円/トン	19.9万円/トン	22.6万円/トン
銅価格	58.6万円/トン	60.3万円/トン	70.8万円/トン

LIXIL

28

LIXIL

この資料には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。  
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により  
当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

MAKE BETTER HOMES A REALITY FOR EVERYONE, EVERYWHERE  
世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現